



2016 年度経団連自然保護協議会のシンポジウム・交流会の参加報告

去る 2016 年 5 月 30 日に、経団連会館 2 階（経団連ホール北）で開催の同シンポに参加してきました。シンポジウムとは別に会場を移しての交流会が設定され 1 時間あまりの時間ですが、東京湾大感謝祭実行委員会と共に交流・広報活動を実施しました。また同時に感謝祭の PR(動画によるプレゼン)も行われました。シンポジウムでは、3 事例が各社より紹介され、息の長い活動が実施されています。以下簡単にご紹介します。



「シンポジウムの 3 事例」の発表

・ NEC-田んぼ作りプロジェクト

長年 NEC が取り組んできた、「田んぼ作りプロジェクト」は、今や環境に対する社内の人材育成へと発展しています。単なる環境教育だけではなく、自然体験の参加型による意識啓蒙、変革を実施してきています。次の 3 点についての解説が行われました。

1. CSR 環境教育 ～ CSR 部門+(年度計画作り)社内にいる達人の協力が不可欠です。
2. 社内評価では、コストパフォーマンスは高く評価されている。
3. 人材育成は、環境教育（頭で理解）+意識啓蒙（心で実感）のバランスを取るに至っています。今後の課題としては、量的な拡大・参加社員、一つのイベント 100 人前後で、参加増を検討した場合など、参加イベントの頻度にも注意を払う必要があるようです。

・ JTB 地球いきいきプロジェクト（株式会社ジェーティービー）

旅行業から交流文化を育む事業へと発展する段階にきています。CSR 的な位置づけからはじまり、2012 年に CSR を事業に結び付ける活動となり、各支店へのプログラムの募集により、さらにエリアの中での結び付き、地元への関係性を深める効果を発揮しています。事業支店ごとの意識変化もあり、日本全国および海外にて自治体や NPO 団体などとの連携により地域特性のある地域オリジナルプログラムを実施しています。2015 年は合計 57 件の実績で 3,076 人の参加がありました。



・ ホテルの棲める環境づくり（ホテルビオトープ）の取り組みについて(株式会社熊谷組)

平成 14 年から取組がスタート→ホテルをわざわざ放さなくても、自生した循環型で上手に作り出しています。ビオトープは人の手を入れながら維持管理するのが大切です。さまざまな取り組みの中で、地元の自治体や学校などとの協力・連携を図りながら実現にこ



ぎつけています。さらには、ビオトープの維持管理も含めて協力の輪を広げています。

◆ 今回のプログラム

経団連自然保護協議会

2016 年度 5 月 シンポジウム・企業と NGO 等との交流会開催

1. シンポジウム 共催 公益信託経団連自然保護基金

(1) 日 時 : 2016 年 5 月 30 日 (月) 13:00~16:00

(2) 場 所 : 経団連会館 2 階 (経団連ホール北)

[内容]: 開会挨拶 経団連自然保護協議会 会長 二宮 雅也、来賓挨拶 環境省大臣官房審議官 亀澤 玲治氏 ①2016 年度公益信託経団連自然保護基金支援プロジェクトの紹介 三井住友信託銀行株式会社(受託者) ②記念講演 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村 彰男氏 「生物多様性保全と地域内外協働」 ③事例発表 多様な主体の連携・協働による生物多様性保全の取り組み・日本電気株式会社(NEC 田んぼ作りプロジェクト)・株式会社ジェーティービー(JTB 地球いきいきプロジェクト)・株式会社熊谷組(ホテルの棲める環境づくり) ④パネルディスカッション

2. 企業と NGO 等との交流会(取組紹介) 共催 公益信託経団連自然保護基金

場 所 : 経団連会館 5 階 501・502 号室 (パールルーム)

« 交流会の会場 »

交流会は、一コマのブースに出展です。フォーラム活動の活動を紹介するとともに、フォーラム主催の未来交流会開催案内および東京湾大感謝祭の実施をおもに紹介してきました。みなさまが気になるブースにあつまり巡回しながらの内覧状態でした。フォーラムのブースには、日ごろあまり接する機会が少ない日本ハム様や三井物産様など企業の方も来ていただき、ことができました。会場内はプレゼン動画も多数上映されました。目についたのは、トヨタの白川郷の自然学校やCWニコルの東松島の自然学校の設立構想などの紹介があり、自然学校と企業という新たな関係が生まれているのに気が付きました。



交流会場 展示



« 動画プレゼン »

「TOKYO WONDER PROJECT」の動画によるプレゼン。会場内、2か所にスクリーンを設置し、時間まで交互に上映展示。プレゼン参加団体・組織は15社で、この展示をシンポジウムなどの参加組織の方々が見て回るような形式になりました。

